

# 境港市における幼稚園・保育所のあり方について

## 1. 現状

### 施設

\* 幼稚園（公立4園、私立2園、計6園）

区分	施設名称	所在地	備考
公立	余子幼稚園	福定町	保育所との合築園、4歳以上児
	わかまつ幼稚園	外江町	保育所との合築園、4歳以上児
	ひまわり幼稚園	幸神町	4歳以上児
	こまどり幼稚園	渡町	平成17年度末廃園予定
私立	聖心幼稚園	中町	3歳以上児
	美哉幼稚園	明治町	3歳以上児

注：合築園とは、同一敷地内に幼稚園と保育所を建設し、園長を兼ねるなど効率的な運営を目指したもの

\* 保育所(園)（公立6園、私立5園、計11園）

区分	施設名称	所在地	備考
公立	渡保育所	渡町	0～5歳児までの一貫保育施設
	外江保育所	外江町	幼稚園との合築園、3歳以上児
	上道保育所	中野町	3歳以上児
	余子保育所	福定町	幼稚園との合築園、3歳以上児
	中浜東保育所	小篠津町	3歳以上児
	台場保育所	岬町	3歳以上児
私立	梅檀保育園	東本町	0～5歳児までの一貫保育施設
	みなと保育園	中野町	3歳未満児のみ
	かもめ保育園	岬町	3歳未満児のみ
	つばさ保育園	幸神町	3歳未満児のみ
	育成保育園	芝町	3歳未満児のみ

### 課題

- \* 乳幼児人口減少等により市立幼稚園の利用率が悪い
- \* 今後も乳幼児人口の減少が続き、保育所利用率の低下も予測される
- \* 多様な保育ニーズへの対応と施設運営の効率化の両立を図らなければならない
- \* 市民の利便性向上のため、0～5歳児までの一貫保育施設化を図る必要がある

## 2. 今後方針

- \* 乳幼児保育サービスについては、民間で十分サービス供給が行える分野であり、積極的に民間に委ねていく。ただし、障害児保育、病後児保育をはじめ行政が関わっていくべき課題等については、民間と共にその解決に努める。
- \* 市民が求める保育サービスについての的確に把握し、出来得る限りその供給に努めると同時に、保育施設の効率的な維持運営を図るために、市民にも一定の理解・協力等を求める。

\* 幼稚園について

- ・公立幼稚園については、現状の利用率、私立2園の受け入れ容量、近隣市町村の状況等を全て勘案し、将来的には全園を廃園すべき状況にあると判断する。
- ・「ひまわり幼稚園」については、平成20年度をもって募集停止とし、平成21年度末の廃園を予定する。
- ・余子・外江(わかまつ)の保育所との合築園については、平成15年度開園であり、他施設に転用すれば補助金返還を伴う平成24年度まで現状を維持し、その後一貫保育可能な保育所に転用を図ることとする。  
ただし、それまでの間、あまりに児童数が少なく集団教育上支障が出るようであれば、入園申請者と相談の上、休園と出来るような方策をとる。
- ・保育料については、私立と公立の間に格差が生じている。これは、公立が値上げすべきところを一定期間据え置いてきたことによるものであり、今後、残る園については、私立保育料に近づけていく。公立廃止に伴う特別な措置は取らない。
- ・公立廃園に伴う通園距離の遠距離化については、私立幼稚園と協議した上で、何らかの対策を講じる。

\* 保育所について

- ・現状の利用状況、今後の乳幼児の人口推計から、将来に向けいくつかの公立保育所の廃園が考えられる。また、民間は3歳未満児、公立は3歳以上児ではなく、市民の立場からすれば一貫保育施設が望まれるため、そのように転換あるいは誘導していく。
- ・保育所については、児童措置における安定した市民サービスの確保の観点からいくらかの公立施設を堅持するとともに、併せて年度間の児童数のばらつきを公立施設で吸収する。
- ・「台場保育所」については、乳幼児人口の減少に加え少人数定員等により効率も悪いことから、平成20年度をもって募集停止とし、平成22年度末の廃園を予定する。
- ・平成25年度から設置予定の余子・外江における一貫保育施設については、設置時に民間移譲等も含め運営形態を検討する。